



柏ビレジ・ニュース



1992年12月15日

柏ビレジ文化祭

実行委員長
武内京子



文化祭にたずさわらせて
いただいて、諸先輩のみな
さまの十年の歩み、御努力
の積み重ねの重みを、ずっ
しりと感じていきます。

こまごまとした打合せか
ら始まり、パネルの確保、
作品、出演の募集そして出
展、出演していただく方々
とお話合いなどを通じて
人間同志のかかわりあいの
温かさや、いろいろなこと
にうち込んでいらっしやる
人達の深みのようなものに
接することができ、今まで
に感じたことがない感動を
おぼえました。

舞台では十周年記念行事
の式典、講演会があり、そ
の後の出演の部では、大極
拳、詩吟、手品、コーラス、マ
リンバ演奏等私達を楽しま
せて下さいました。

当初、役員全員が会場に
待機してはなくてもいいの
ではないかと言うことでし
たが、講演会が始まる前に
聴講者が少なくは、せつ
かくの講演や出演に失礼に
なってしまうということ
で、急拠何人かの役員の方
で連絡網を流していただい
たり、個々に電話をしてい
だいたり、人集めにん
やわんやでした。

ガールスカウトのみなさ
んによる「お茶席は無料
ですよ」とか、四月からの行
事で撮った「写真を展示し
ますよ」そして写っている
方は「どうぞお持ち帰り下
さい」などのP・Rが、不足
だった等、反省点はたくさ
んありますが、おかげさま
で、多数の方が参加して
下さり、無事終了できまし
た。ありがとうございます。

私は、役員になってはじ
めて行事に参加したのです
が、ふれてみてその楽しさ
を知りました。

まだ参加したことがない
みなさんも、自治会の行事
をぜひ一度のぞいてみて下
さい。

文化祭によせて

ニットサークル
蔵 せつ子

昭和五十一年第一回文化
祭から参加させて頂いてお
ります。第一回は、出品申
込みはしたものの、三十余
点を、どのように展示した
らよいかと、思案していた
時、初代実行委員長神田さ
んの「最初からパーフェク
トを狙わず、年々良いもの
にして行きましょう。」との
言葉に力づけられ、クリス
マスをテーマに、大きな樫
の木やリースを運び込んで
飾りつけをしたのを思い出
します。

以後毎年、文化祭に来て
下さる方が、少しでも心豊
かになり、楽しんで頂けた
らと、サークル会員、全員
で展示して参りました。

編物は、作る楽しみ、う
まく行かない時の苦しみ、
完成の楽しみ、そして何よ
りも仕上げたセーターが、
体にぴったりとフィットし
た時の何とも言いつくせな
い喜び、そして、自分の編
み上げたものを着て人に
見てもらい楽しみがありま
す。全ての作品にそれぞれ

文化祭にあたって

アートフラワー

鳥羽々 善子

「花は心の友達」何も語っ
てくれませんが、花は作者
の心がそのまま現れてしま
う不思議なものです。

今回の文化祭では「生活
空間をいける花」というテ
ーマで、行事の花の中で最
もポピュラーなクリスマス
の花とお正月の花を生徒さ
んと一緒に製作してみました。

クリスマス花では、実
際にテーブルデコレーショ
ンをしてみたい、白いクリ
スマスツリーにウエディン
グのブーケやブートニア、
コサージュをアレンジしたり
壁面や床を活用してみたり
と、まだレッスンを始めた

のドラマがあります。
このドラマを生かすよう
に、デザイン感覚のもの、
定番のもの、これらをバラ
ンス良く展示するための案
を出し合うのも毎年の楽
しみになりました。

今年、和をテーマに、
四十三点を展示させて頂き
ました。三十代〜八十代と
いう幅の広い年齢層の会員
です。昔の火鉢、茶入
壺、障子、植物等を持ち寄
りてくれる人、庭の菊や、も
みじを生けてくれる人、か
らすうりを頂いてきて下さ
る人、全て、会員のアイデ
イアと手作りです。

今年、少し暗いイメー
ジになってしまいましたが

一時間半という、短い時間
での飾りつけです。皆で良
く出来たし、と自負してお
ります。(まだまだ未熟な所
が多々あるのですが)

柏ビレジの文化祭は、ど
の作品を拝見しても、とて
も感性の豊かさを感じます。
今後、一人でも多くの方
が、気楽に出品し、皆さん
の目を、耳を楽しませて下
さったら、ますます、素晴
らしい、柏ビレジ文化のお
祭りになるのでは、と期待
してやみません。

最後に、毎年お世話頂
きます委員の方々、及び朝早
くから見に来て頂いた方々
に厚く御礼申し上げます。

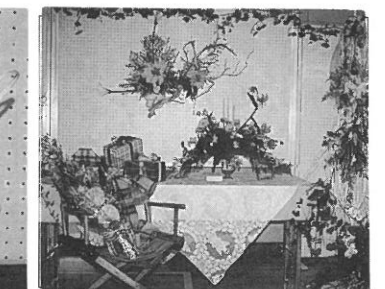
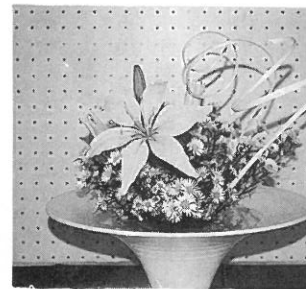
また、例年いらして下さ
っている方からは「今年は、
去年とまた雰囲気がちが
いますね。」とか「毎年楽し
みにしているんですよ。」と
話して下さる方々がいらっ
しやると、本当に花をやっ
ていてよかったと、いけ込
みのあの忙しさを忘れてし
まう一瞬です。

これからも、地域の皆様
に親しまれます花コミュニ
ティを広げていきたいと思
っております。

来年も多くの方に見て頂

製作者は主婦の方が多く
夕方四時〜七時過ぎまで
一番忙しい時間帯に丸と
なって一つのテーマに向
って製作しました。

花自身が心の友達であり
花を通して友達の輪が広が
り、本当に素晴らしい事だ
と思っております。



きたく思います。そして、
御批評をお聞かせ下さい。
最後に遅くまで待つてく
ださった係の方々に厚く御
礼申し上げます。



柏ビレジ創立十周年記念式典について

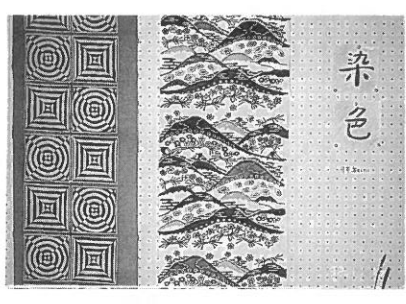
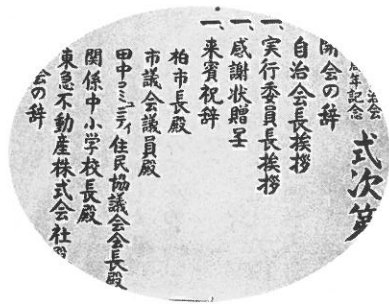
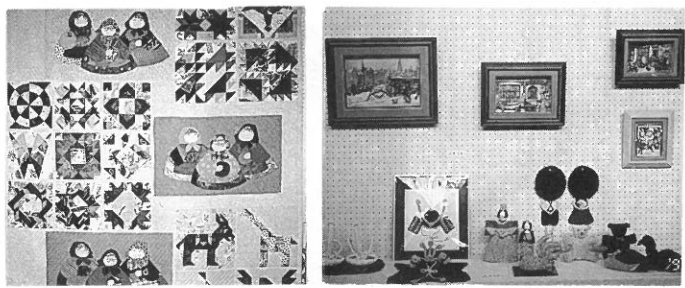
十一月十五日文化祭と併せて記念式典を十二時三〇分から行いました。来賓の方々は、田中地区の市議会議員の五名様、近隣町内会長三名様、田中小、花野井小の校長様、花野井派出所から二名様、東急不動産、三菱銀行北柏出張所、柏ビレジ商店会からも代表の方が見られました。柏市長様は所用のため欠席されましたが、丁重な祝電を下さいました。十周年記念に際し、次の方達が自治会運営に対する貢献者として、又環境の美化に貢献され、現在に及んでいると言うことで感謝状並びに記念品を贈られました。

- 戸崎 巖氏 (82-4)
- 手賀 啓氏 (35-14)
- 井本末男氏 (90-6)
- 五十嵐敏夫氏 (90-8)
- 前田悟康氏 (107-09)



なお、東急不動産からは、十周年記念としてビレジに贈呈される立派な時計の披露があり、三菱銀行北柏出張所からは二張りを贈られました。

式典終了後十三時三十分より、宮脇檀氏の『住む人が造る街』と題する講演がありました。宮脇氏は前日海外から帰国されたばかりで、風邪気味でありましたが、柏ビレジ創設の頃の話や将来の構想等熱っぽく語られ満席の聴衆を魅せられました。又、会場には小、中学生、幼稚園児から提出された柏ビレジに関する絵画が三十枚展示されています。



祝 御長寿

田中地区敬老会のお手伝いをして

近藤 きみ子



今年(十月十八日)の敬老会は、お天気も良く、喜ばしい一日でありました。私達は一年に一回、地区の皆様が一同に集まるこの日を千秋の思いでお待ちして居りました。お年をとった皆様方がお元気なお姿をみせて下さるので私達、民生委員の者達は張り切ってお迎えすることができました。私達は朝からお土産物を袋につめたり、お茶の用意を



佐々木、奥田の三人でビレジを担当して居りますが一人で住んで居られる方は四人程居られます。皆様お元気で男性は自動車に乗ったりして居られます。あと病院に入院している方は僅か八名程居られます。私達も年をとりましたが元気でお手伝いをさせて頂いて居ります。又来年も楽しみにして居ります。

編集後記

例年になく今年には寒さの訪れが早いようで、街路樹が色づくと同時にあつというまに赤や黄の葉が地面をおおってしまいました。三九号のビレジニュース

恒例 柏ビレジ餅つき大会

のお知らせ

とき 平成5年1月17日(日) 午前11時~午後3時
 ところ 柏ビレジ近隣公園
 当日は餅つきのほかにも催しを予定しております。ご近所お誘い合わせのうえ、多数ご参加下さいますようお願いいたします。
 ○参加の際はおはし、お皿をご持参願います。
 ○つき手、こね手が不足しておりますのでお父様、お母様のご協力をお願いいたします。

が届く頃には、白い便りが聞かれるようになり、部屋の大部分を多くの植物達が占拠していることでしょう。今回は文化祭の特集です。年々、催し物や展覧物の出来映えが良くなってきていること、特に今年にはビレジの十周年に当り、環境整備や催し物に対し自治会および委員会が力を入れていくこともあって、我々、広報係は、この熱気を少しでも伝えようと、今回もカメラを携えた皆さんの写真をとりました。

ビレジニュースへの掲載は白黒となり小さくなってしまいますので、作品の微妙な表情をお見せすることができません。新年には、もちつき大会と合わせて、これらの写真の大展示会を開きたいと思っております。作品を見る角度や光のかげんで(ぼやけてるのもある)新たな芸術性を発見できるかもしれません。どうぞ御期待ください。